



平成 20 年 11 月 4 日

各 位

上 場 会 社 名 広島電鉄株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 大田 哲哉
(コード番号 9033 東証第2部)
問 合 先 責 任 者 常務取締役M・Sカンパニープレジデント
椋田 昌夫
TEL(082)242-3542

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 20 年 5 月 12 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成 21 年 3 月 期 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 連 結 業 績 予 想 数 値 の 修 正 (平 成 20 年 4 月 1 日 ~ 平 成 20 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	20,150	1,060	750	270	4.45
今回発表予想(B)	20,025	1,143	856	388	6.41
増減額(B-A)	△124	83	106	118	—
増減率(%)	△0.6	7.8	14.2	44.1	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	18,548	1,251	945	421	6.95

修正の理由

業績予想につきましては、売上高は、運輸業において、ガソリン価格高騰に伴うマイカーからのシフトなどの影響により乗車人員が増加したことや、前年度に引き続き、宮島への来島者が増加したこと等により、宮島周辺を拠点とするグループ各社は、好調に推移いたしました。不動産業において、マンションの販売が当初計画した戸数に届かなかったことにより前回発表予想より減収となりました。

しかし、利益は、運輸業において予定していた修繕工事等を下期以降に見送ったこと、不動産業において、紙屋町ビル再開発事業に伴う既存ビルのテナント移転が一部下期以降にずれしたこと等により、営業利益、経常利益、四半期純利益がそれぞれ当初予想を上回る見込みとなりましたので、上記のとおり、修正いたします。

当第2四半期累計期間の個別の業績予想につきましては、修正する数値にはいたっておりません。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上